

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資料配付

配布日時	平成 19 年 5 月 22 日 14 : 00 ~
------	-------------------------------

件 名	<p style="text-align: center;">ありだかいなん</p> <p style="text-align: center;">みんなで考えよう「有田海南道路」(仮称)</p> <p style="text-align: center;">～有田海南道路(仮称)のアンケート調査結果が まとまりましたので、報告します。～</p> <p>「有田海南道路」の名称は、あくまで仮称であって、正式に決まったものではありません</p>
-----	--

概 要	<p>一般国道 42 号(有田市～海南市)交通渋滞対策協議会において検討を進めております一般国道 42 号「有田海南道路」(仮称)について、平成 18 年 11 月 30 日から行いましたアンケート調査の結果がまとまりましたので、報告致します。</p> <p>アンケート調査(有田市、海南市計 30,029 世帯対象)には、約 8 割の世帯から回答(回答数 23,481 世帯)を頂きました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>アンケート回答数のうち、約 8 割の方が、現在の国道 42 号の状況からみて、「道路整備が必要」と感じていることが解りました。</p> <p>今回のアンケート調査から得られた有田市、海南市の皆様の貴重な意見や意向を活かし、環境面での調査や関係機関との協議を行いながらルート決定のための調査・計画を進めてまいります。</p>
-----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	<p>一般国道 42 号(有田市～海南市)交通渋滞対策協議会 事務局 国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副 所 長 木村 是一 調査第二課長 田中 克己 TEL:073-424-2471(内線 205、451)</p>
------	---

みんなで考えよう「有田海南道路」(仮称)

～有田海南道路(仮称)のアンケート調査結果がまとまりましたので、報告します～

一般国道42号(有田市～海南市)交通渋滞対策協議会において検討を進めております一般国道42号「有田海南道路」(仮称)について、平成18年11月30日に行いましたアンケート調査の結果がまとまりましたので報告致します。アンケート調査(有田市、海南市計30,029世帯対象)には、約8割の世帯から回答(回答数23,481世帯)を頂きました。ご協力ありがとうございました。アンケート調査結果の概要(有田市、海南市の皆様の意向等)

【現道への認識】

- ・約6割の方が「いつも走りにくい」又は「平日の朝と夕方が走りにくい」と感じている。

【道路整備の必要性及びルートの妥当性】

- ・約8割の方が「道路整備が必要」と感じている。
- ・約7割の方が本アンケートの有田海南道路(仮称)のルート案が妥当だと思っている。

【有田海南道路(仮称)の検討にあたり配慮すべき事項】

- ・約8割の方が「通過交通だけでなく、地域に住んでいる人にも利用しやすいよう、現在の国道42号からもアクセスしやすい計画」、「早く開通して国道42号の渋滞緩和ができる計画」及び「自然環境を大切にしたい計画」とすることに配慮すべきと考えており、約7割の方が「できるだけ住宅地を避けた計画」及び「建設費用が安くなる計画」とすることに配慮すべきと考えている。

【有田海南道路(仮称)の整備に期待する効果】

- ・約9割の方が「平日の朝や夕方をはじめとする交通渋滞の緩和」、「有田市中心部や旧下津町中心部から和歌山市内にある総合・一般病院への搬送がすばやくできるようになり安心」及び「国道42号で大きな事故や災害などが起きた場合でもすぐ代わりの機能を果たせる」ことに期待しており、約6割の方が「有田市内や旧下津町の地域経済にとってのメリットが大きい」ことに期待している。

アンケート結果は、和歌山河川国道事務所のホームページをご覧ください。

「<http://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>」

今後は、今回のアンケート調査から得られた有田市、海南市の皆様の貴重な意見や意向を活かしつつ、環境面の調査や関係機関との協議を行いながらルート決定のための調査を進めてまいります。

具体的には、『有田海南道路(仮称)は、環境に配慮しつつ、現在の国道42号に比べ走行性や安全性などが優れたもの』とすべく引き続き

現地での動植物調査を実施するとともに

ルートを決定するため、「詳細なルートや道路構造の検討」に着手します。

(1) 調査概要

- ・ 配布対象地域 : 和歌山県有田市、海南市
- ・ 配布方法 : 自治会長による直接配布
- ・ 回収方法 : 自治会長による直接回収
- ・ 配布・回収日 : 平成 18 年 11 月 30 日 配布、12 月 28 日 回収
- ・ 配布・回収部数 :

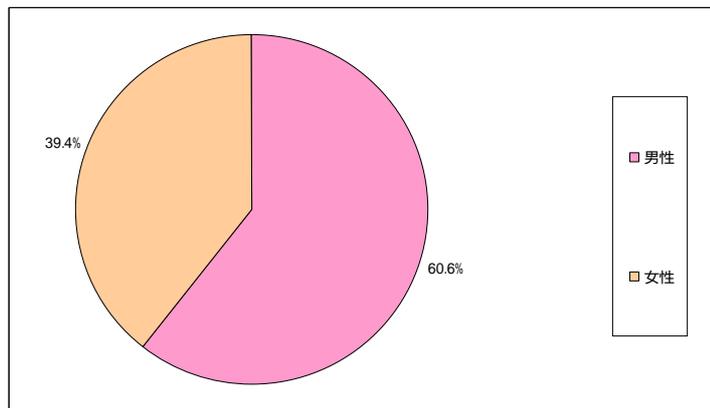
		アンケート 配布数	回収数	回収率	
全世帯		30,029	23,481	78.2%	
内 訳	有田市内	10,295	9,125	88.6%	
	海南市	内 旧下津町	4,742	3,381	71.3%
		内 旧海南市	14,992	10,975	73.2%

(2) 調査結果

調査結果は有効回答のみで集計を行なっています。

1) 性別

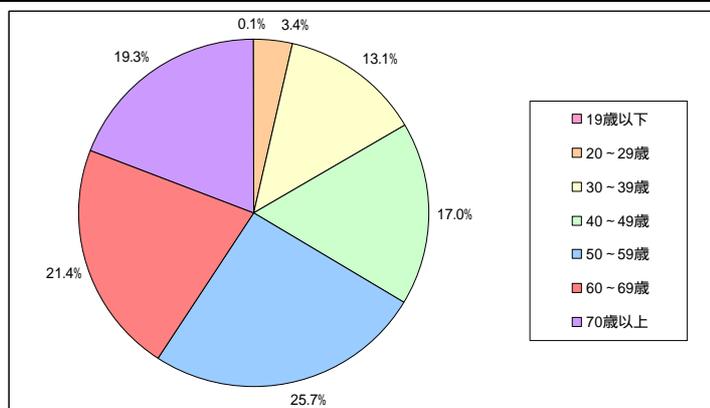
「男性」が約 61%、「女性」が約 39%となっています。



N=21,137

2) 年齢

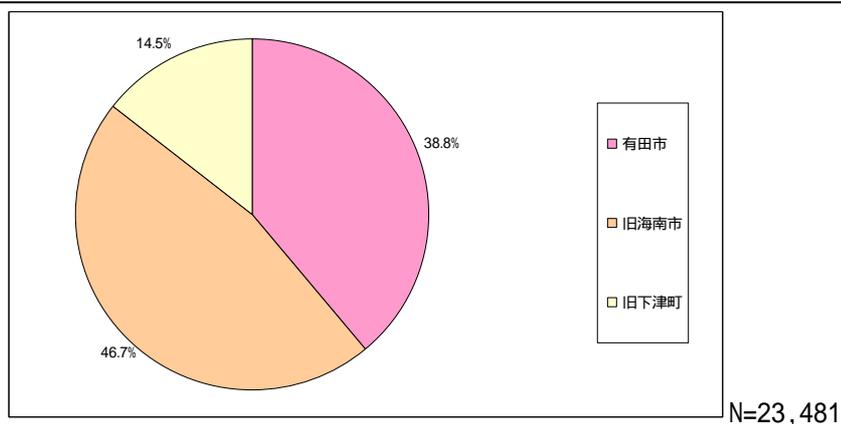
回答者の 99.9%が 20 歳以上となっています。



N=22,666

3) 居住地

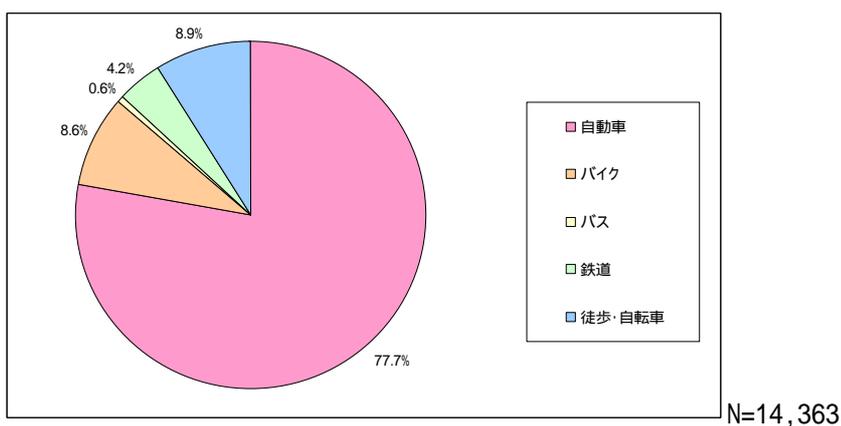
「旧海南市」が約47%と最も高くなっています。



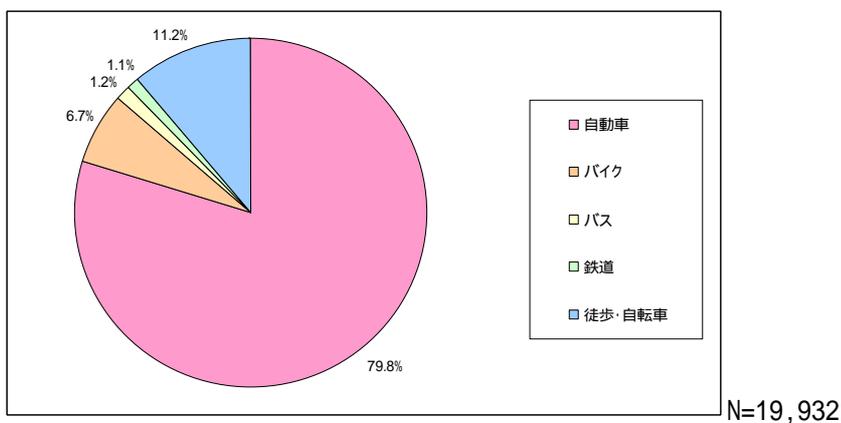
4) 日常の行動目的毎における主な交通手段

全ての目的において「自動車」の利用が75%以上と高くなっています。娯楽・レジャーにおいては約90%と非常に高くなっています。

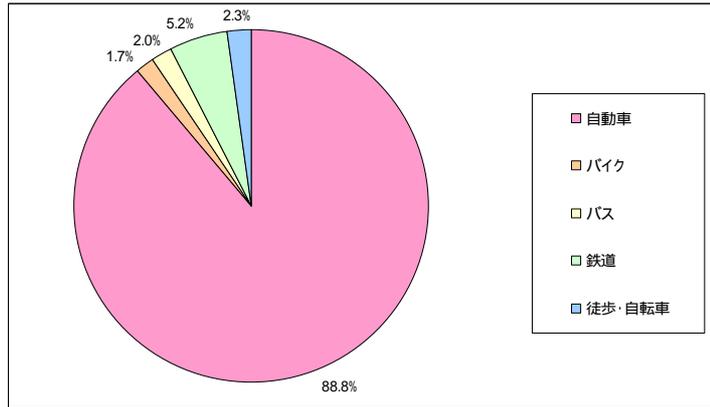
「通勤・通学」



「買い物」

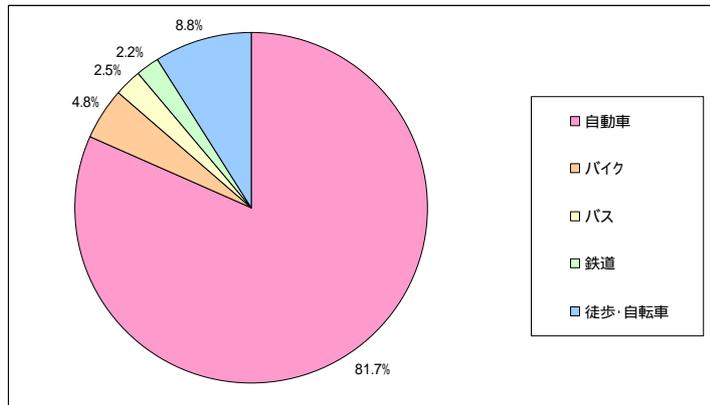


「娯楽・レジャー」



N=18,069

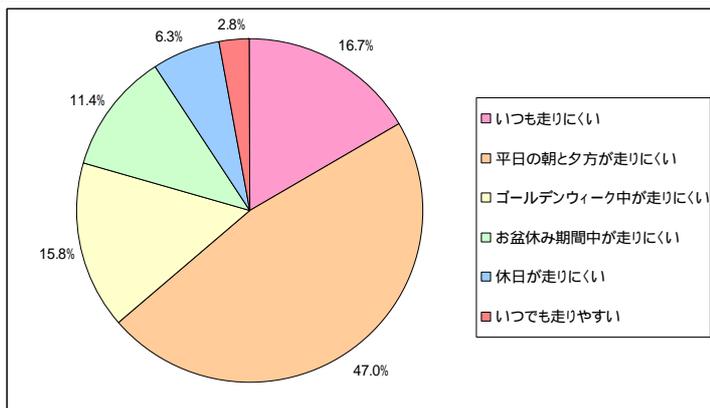
「通院」



N=18,604

5) 車で走行する場合の国道42号における走行しにくい時期

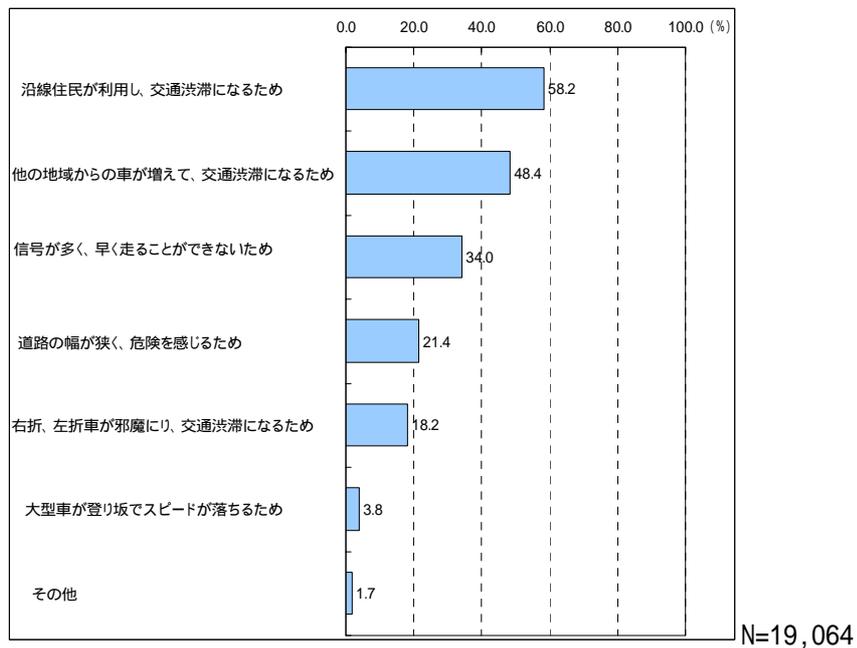
「いつも走りにくい」または、「平日の朝と夕方が走りにくい」と感じている方が6割以上いることが解りました。



N=20,974

6) 車で走行する場合の国道42号が走りにくい理由(複数回答)

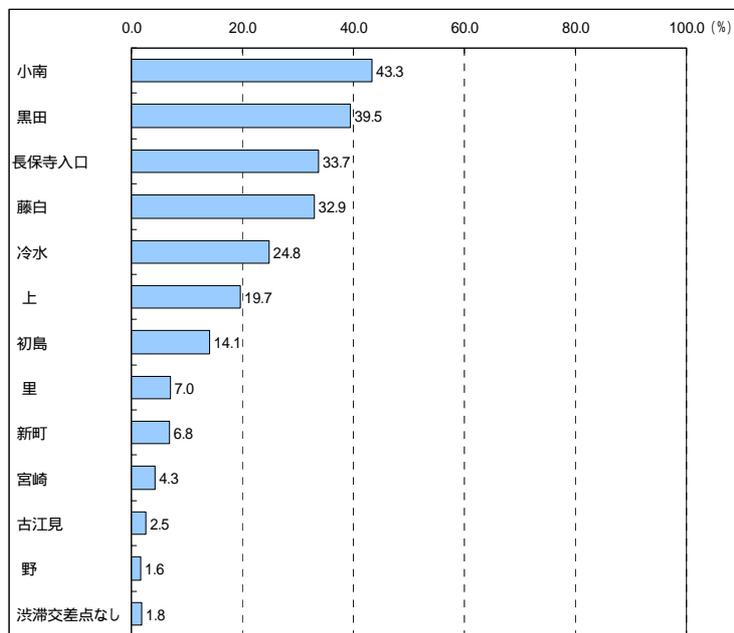
約58%の方が「沿線住民の多くが国道42号を利用し交通渋滞になるため」を理由として挙げています。



7) 国道 42 号で渋滞を感じる交差点 (複数回答)

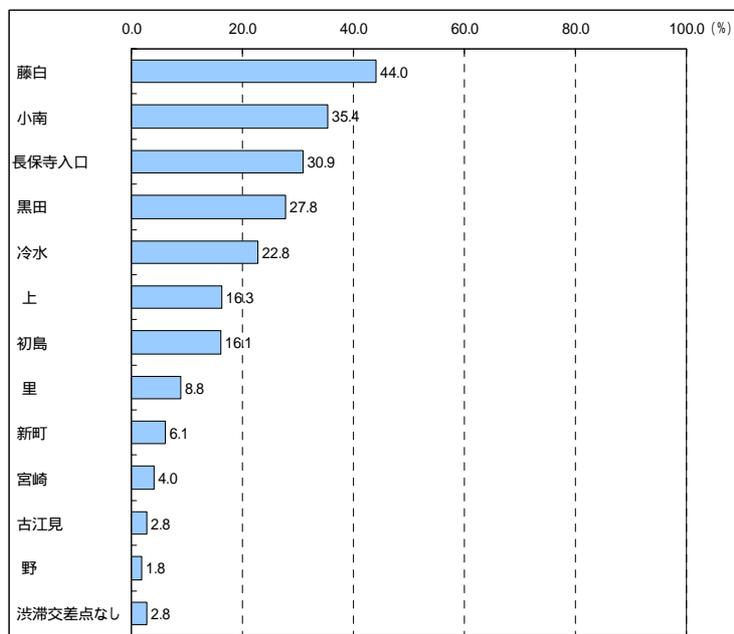
和歌山市方面行き車線では、約 43%の方が「小南交差点」を、有田市方面行き車線では、約 44%の方が「藤白交差点」が渋滞していると感じていることが解りました。

「和歌山市方面行き車線」



N=18,559

「有田市方面行き車線」



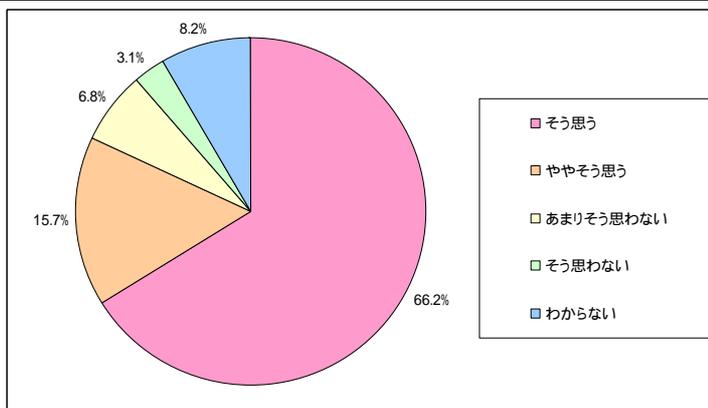
N=17,583

8) 道路整備の必要性

約8割(「そう思う」約66%+「ややそう思う」約16%)の方が、道路整備が必要と感じていることが解りました。

また「他の道路のソフト及びハード施策で対応可能」、「環境破壊につながる」等の理由から道路整備を必要と感じないとの意見もありました。

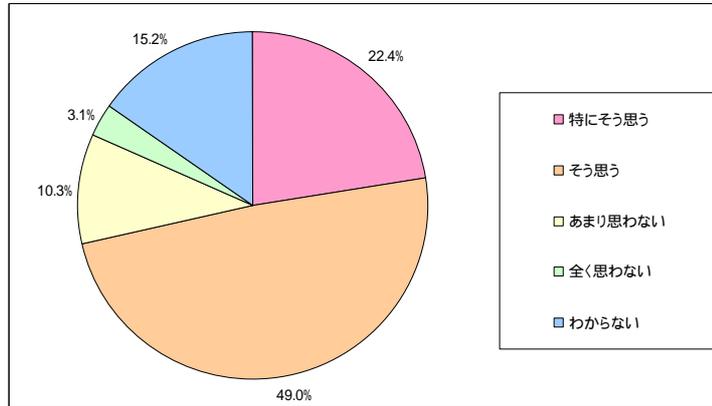
今後これらの意見を踏まえ、関係機関と協議を行いながら調査・計画を進めてまいります。



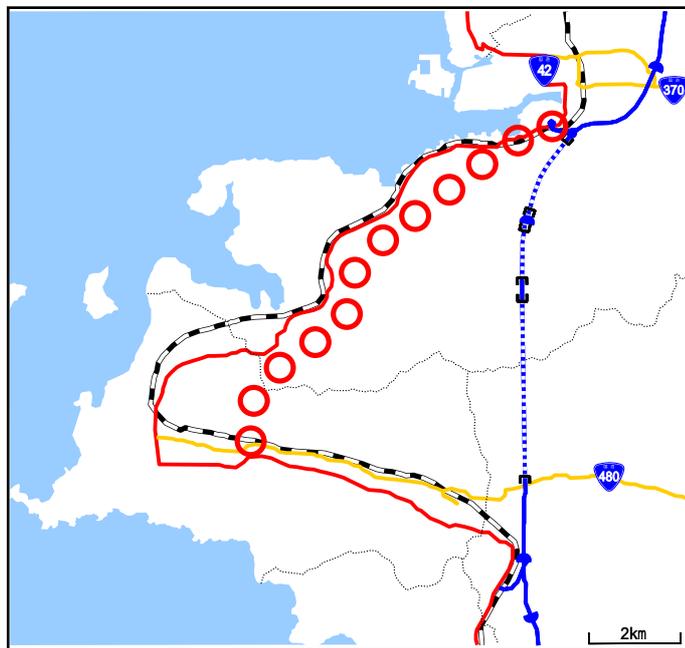
N=21,012

9) ルート案の妥当性

約7割(「特にそう思う」約22%+「そう思う」約49%)の方が妥当だと思っていることが解りました。



N=19,302

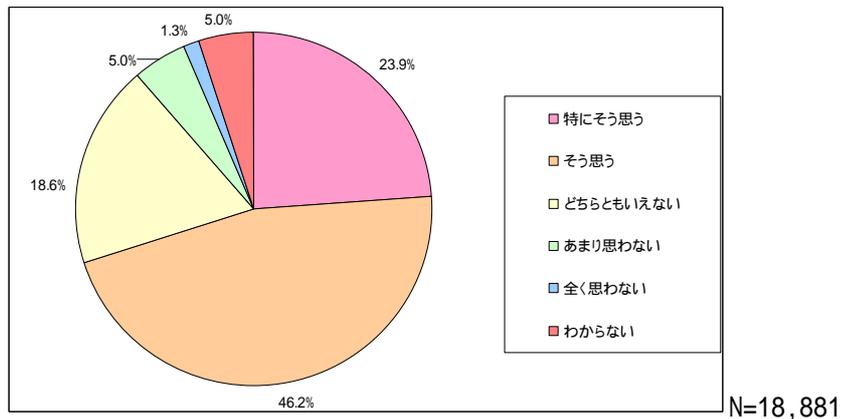


妥当と考えるルート範囲

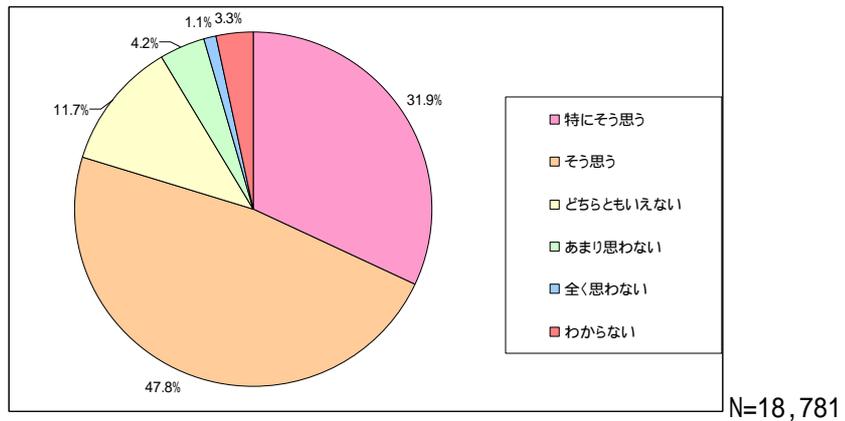
10)「有田海南道路(仮称)」を検討する際に配慮すべき事項

約8割の方が「通過交通だけでなく、地域に住んでいる人にも利用しやすいよう、現在の国道42号からもアクセスしやすい計画」、「早く開通して国道42号の渋滞緩和ができる計画」及び「自然環境を大切にしたい計画」とすることに配慮すべきと考えており、約7割の方が「できるだけ住宅地を避けた計画」及び「建設費用が安くなる計画」とすることに配慮すべきと考えている。

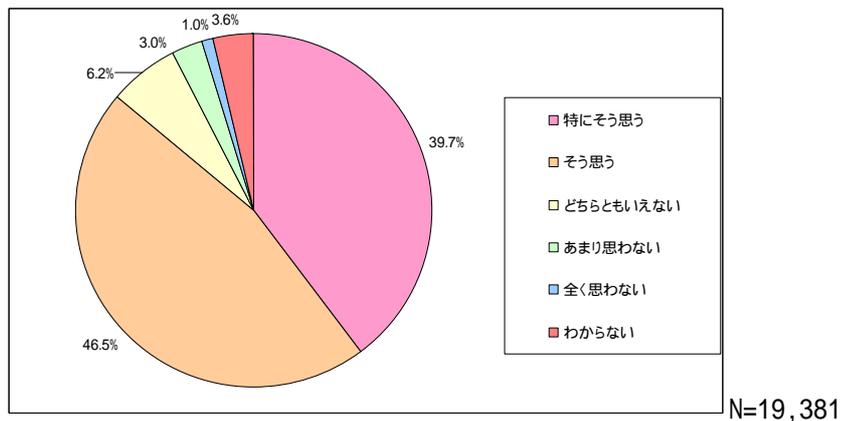
「できるだけ住宅地を避けた計画とする」



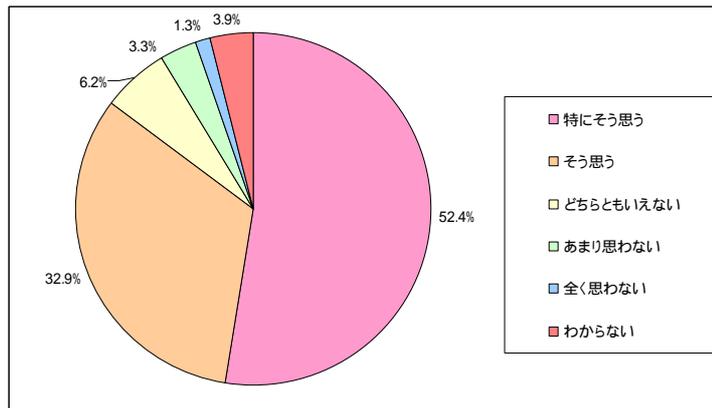
「自然環境を大切にしたい計画とする」



「通過交通だけでなく、地域に住んでいる人にも利用しやすいよう、現在の国道42号からもアクセスしやすい計画とする」

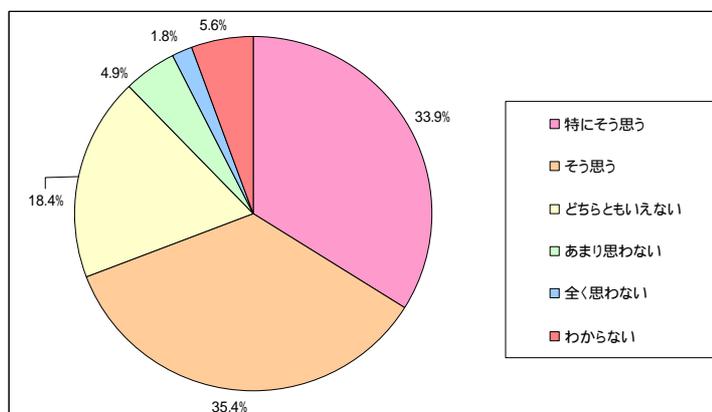


「早く開通して国道 42 号の渋滞緩和ができる計画とする」



N=19,389

「建設費用が安くなる計画とする」

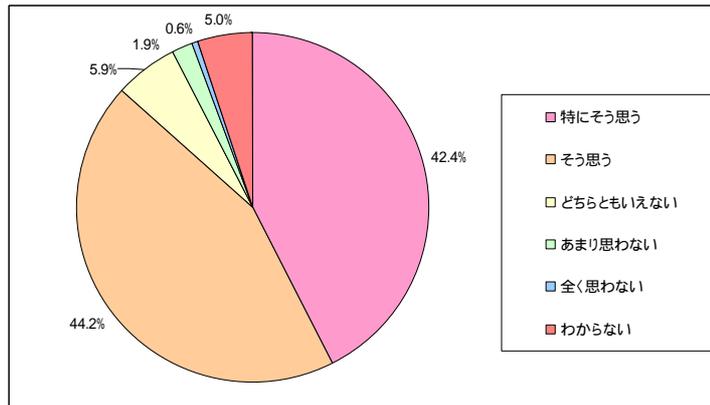


N=18,759

11)「有田海南道路(仮称)」の整備によって期待される効果

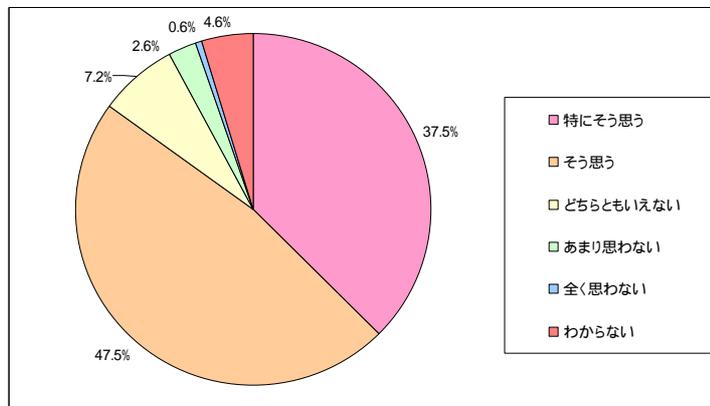
約9割の方が「平日の朝や夕方をはじめとする交通渋滞の緩和」、「有田市中心部や旧下津町中心部から和歌山市内にある総合・一般病院への搬送がすばやくできるようになり安心」及び「国道42号で大きな事故や災害などが起きた場合でもすぐ代わりの機能を果たせる」ことに期待しており、約6割の方が「有田市内や旧下津町の地域経済にとってのメリットが大きい」ことに期待している。

「平日の朝や夕方をはじめとする交通渋滞が緩和される」



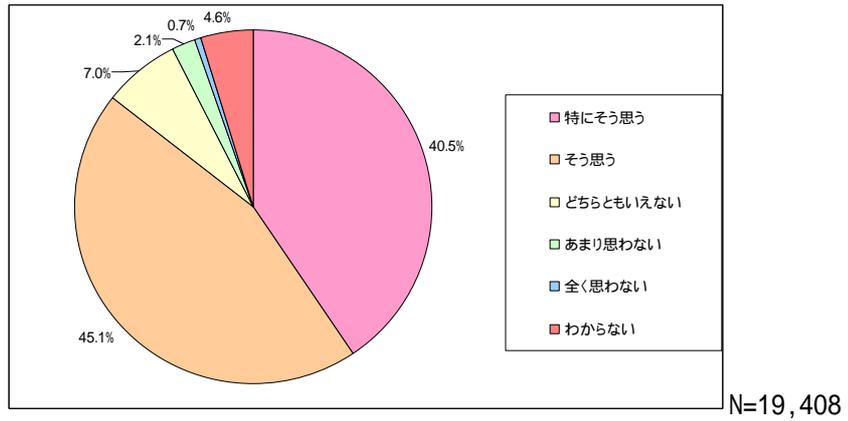
N=19,716

「有田市中心部や旧下津町中心部から和歌山市内にある総合・一般病院への搬送がすばやくできるようになり安心である」

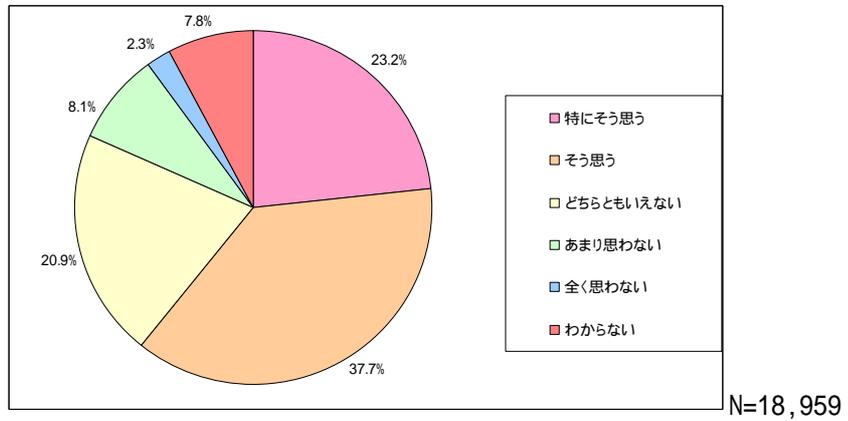


N=19,156

「国道 42 号で大きな事故や災害などが起きた場合でも、すぐ代わりの機能を果たせる」



「有田市内や旧下津町の地域経済にとってメリットが大きい」



12) 寄せられた主な自由意見

和歌山県有田市、和歌山県海南市の皆様から寄せられた主な自由意見としては、「道路の早期整備」、「安全で走りやすい道路設計」、「アクセスに対する要望」、「建設費の抑制」、「地域経済の活性化」、「周辺環境や生態系への配慮」などがありました。

今回のアンケート調査では、和歌山河川国道事務所からの質問に答えてもらうだけでなく、有田、海南市民の皆様のお意見等を伺うべく、自由に御意見を書いて頂きました。

寄せられた御意見のうち、主なものとしては、以下の内容のものがありました。

項 目 (件数)	意見の主旨 (件数)
道路の早期整備 (1,140 件)	早期に有田海南道路 (仮称) を整備してほしい (1,140 件)
安全で走りやすい道路設計 (1,044 件)	道幅を広くしてほしい (452 件)
	信号機を少なく、交通がスムーズに流れるように考慮してほしい (203 件)
	カーブや起伏が少なくなるように考慮してほしい。 (82 件)
	地震などの災害に強い道路にしてほしい (307 件)
アクセスに対する要望 (943 件)	周辺道路に接続してほしい (943 件)
建設費の抑制 (239 件)	建設費が高くないようにしてほしい (239 件)
地域経済の活性化 (213 件)	観光や企業誘致など地域経済に寄与するので整備してほしい (213 件)
周辺環境や生態系への配慮 (129 件)	周辺環境や生態系に配慮して整備してほしい (129 件)